

春爛漫。芽から吹き出した草木の黄色やピンクの花が咲き乱れ、とても暖かそうな陽気を思い浮かべます。鹿児島の開聞岳では1月には既に菜の花が咲き、淡路島でも水仙が一面に香りを漂わせるそうです。3月でもまだ白銀の世界に住んでいますと、そのような春爛漫という文字はまだ見あたりません。それでも、庭の片隅に目をやると、雪の下で福寿草が黄色い花を一輪開こうとしています。それを見つけたとき、私自身の中に一気に春が押し寄せてくるのです。春は感動を呼ぶ季節でもあります。

昨年スタートした新しい診療報酬制度によって、新規に、しかも大幅に増員しなければならなかった医療機関も多いと聞いています。相当の人員調整を検討しなければならないような抜本的改定がなされたにもかかわらず、厚生労働省の発表が年度末ギリギリで、多くの臨床現場から悲鳴が伝わってくるようでした。まさに悪戦苦闘の1年間でした。また、ADLへの視点を強く求められ、理学療法士としてのアイデンティティをどうするのか、自問自答してもまだ答えを見いだせない人たちも多いことでしょう。診療報酬制度は政策誘導ですから、その統制に従っていくことが王道かもしれませんが、価値観の転換はたやすいことではありません。また、理学療法が対象とする疾患や障害、あるいは生活スタイルには幅があり、改定の中身には矛盾も含んでいるように見えます。

特集では、日下氏にこの診療報酬改定と介護保険制度が意図するもの、およびその問題点について整理していただきました。また、7氏にそれぞれの医療機関における改定の受け止め方やその後の取り組みと成果を紹介していただきました。早急な対応を求められ、喘ぎながらもなんとか1年間を乗り切ってきた様子が伺えます。この4月に改定される介護保険の内容は比較的早い時期から厚生労働省の意向が公表されており、昨年のような狼狽はないかもしれませんが、続く試練にしっかりと対処していただきたいものです。

本号では阪井氏の特別寄稿を掲載させていただきました。氏の生きざまをしっかり読みとっていただき、同じ理学療法を学んだ人間の可能性の広がりを認識していただければ幸いです。

今年の理学療法士国家試験は3月2日に行われ、4月14日に合格発表があります。桜が満開になることを祈りつつ、新年度に備えたいと思います。

(吉尾 雅春)

理学療法ジャーナル

(第37巻 第3号)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

2003年3月15日発行(毎月1回15日発行)

☎ 113-8719 東京都文京区本郷5-24-3

電話 本誌編集室直通(03)3817-5703

(担当:平岡・山崎)

定価(本体1,700円+税)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

{ 2003年々ぎめ予約購読料 20,880円 }
(配送料弊社負担)

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2003, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ JCLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX03-3815-8199)の許諾を得てください。

●編集顧問●

上 田 敏
五味 重 春
津 山 直 一
福 屋 靖 子
横 山 巖

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
安 藤 徳 彦
内 山 靖
大 川 弥 生
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
奈 良 勲
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 峯 三 郎
岡 西 哲 夫
岡 本 慎 哉
菊 地 延 子
木 山 喬 博
工 藤 俊 輔
佐々木 伸 一
佐 藤 秀 一
高 口 光 子
高 田 京 子
寺 山 久美子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 尾 哲 男
長 澤 弘
永 富 史 子
中 村 春 基
橋 元 隆
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
福 田 恵美子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
宮 本 省 三
諸 橋 勇 彦
八 木 範 彦